

サッカーって、つまるところ何してるの？
というあなたに

『サッカー観戦バイブルー進化する現代サッカー
がわかるー』 河治良幸／著、成美堂出版、2018.5、
ISBN:978-4-415-32474-6

サッカーの審判って、
めっちゃ走りますよね～

『しくじり審判ー失敗から学ぶ
サッカー審判の教科書ー』
小幡真一郎／編著、カンゼン、2021.10、
ISBN:978-4-86255-617-2

サッカーだけでは食えない
でも人生にサッカーがある

『サッカーピラミッドの底辺からー少年サッカー
クラブのリアルー』 後藤貴浩／著、道和書院、
2021.6、ISBN:978-4-8105-2139-9

NHKで放送決定、がんばれ
なでしこジャパン

『女子サッカー140年史ー闘いはピッチとその
外にもありー』 スザンヌ・ラック／著 実川元子／訳、
白水社、2022.11、ISBN:978-4-560-09472-3

日本でも指揮をとった故・イビチャ・オシム氏は
旧ユーゴ代表の最後の監督でした

『コソボ苦闘する親米国家ーユーゴサッカー
最後の代表チームと臓器密売の現場を追うー』
木村元彦／著、集英社、2023.1、
ISBN:978-4-7976-7420-0

全館統一展示

Jリーグ30周年！ サッカー！！



1993年、10クラブからスタートした
Jリーグは、2023年シーズン現在、
60クラブにまで広がりました。

西東京市図書館では、夏の全館統一
展示として市内全館のサッカー本を
シャッフルして展示。競技の
歴史から往年の名選手の
自伝、最新のサッカー事情
など、普段出会わない一冊
をこの機会にどうぞ。

第13回

書名でしりとり

書名の最後の1字で次の本へつなげていく
企画、第13回の文字は前回の書名から
「ど」です。

『ドードーをめぐる堂々めぐり
ー正保四年に消えた
絶滅鳥を追ってー』

(川端裕人／著 岩波書店 2021.11)

江戸時代初期、日本に来ていたらしい絶滅
鳥ドードー。400年の時を超え、その後の行
方追って、四国へ長崎へ、チェコ、イギリス、
オランダ、モーリシャス島へ。日本史と西洋
史、博物学と生物学の間を行き来した探求
の記録。



Chiratto
Vol.42

2023年8月ー2023年9月号

特集1

全館統一展示「サッカー」

特集2

原爆小文庫が
リニューアルされました

連載

書名でしりとり

お知らせ

西東京市図書館からのお知らせ
FM西東京で紹介した本

原爆小文庫が リニューアルされました



1976年、旧保谷市在住で原爆関係資料研究家の長岡弘芳氏から、資料を寄託されたことに端を発した原爆小文庫。それから約半世紀を経て、収集基準の見直し・現存資料の整理を行い新しく生まれ変わりました。

新たに「8つ」の分類で分けることで、手に取りやすく且つ資料研究にも資されやすい書架を目指します。
今回は、その中の4つの分類をご紹介します。

ブンガク

原爆文学の原点ともいえる一冊。
実体験を元に描かれる物語は戦慄そのもので、
原子爆弾の悲惨さが詳細に描写されていたことで
GHQの検閲が通らず、なかなか出版されなかった
ことでも有名な作品。

『夏の花』
原民喜／著 日本ブックエース 2010.7
ISBN: 978-4-284-80078-5

マンガ

西東京市では珍しいマンガ資料。
近年同著者の作品の「この世界の片隅に」が話題
になり知っている方も多いと思いますが、この作品
は原爆投下後を描いた作品です。…実は少しだけ
田無も出てくるのですが、ご存知でしょうか？

『夕風の街 桜の国』
こうの史代／著 双葉社 2004.10
ISBN: 4-575-29744-5

タイケンキ

井伏鱒二／著「黒い雨」のモデルとなった作品。
著者は通勤途中の横川駅（広島駅の隣）で被爆し
た。同じくモデルとなった軍医の「岩竹手記」と、重
松に宛てた井伏の書簡26通も収録されています。

『重松日記』
重松静馬／著 筑摩書房 2001.5
ISBN: 4-480-81818-9

キロク

もう一つ原爆ドームの軌跡を辿った写真集。
原爆投下後、保存する意向で進められていたにもか
かわらず、1958年に解体された旧浦上天主堂。
解体までの13年と、その後が写真とともに綴られて
います。

『長崎旧浦上天主堂1945-58-失われた被爆遺産-』
高原至／写真 横手一彦／文 岩波書店 2010.4
ISBN: 978-4-00-024165-6

西東京市図書館からのお知らせ

【西東京市図書館縁講演会】開催します！
「西東京市の自然地理～都市水害とヒートアイランド～」

講師：原芳生氏

日時：9/2(土)午後2時～4時

場所：柳沢公民館 視聴覚室

定員：60人(申込順)

申込：8/15(火)午前10時から、

柳沢図書館へ来館・電話または上記QRコードにて受付

※詳細は、図書館ホームページをご覧ください。



F M西東京で紹介した本

『坂下あたと、しじょうの宇宙』

(町屋良平／著 集英社 2020.2)

高校生の毅(つよし)は詩を書いています。評価
はいまいち。親友のあたるは小説の才能があり、毅
は劣等感に苦しんでいます。そんな中、あたるがつ
かっている小説投稿サイトに、彼の作風を模倣した
AIによる偽アカウントが作られます。それは次第に
オリジナルの面白さを超え始め…
才能のあるなしや、本物が偽物かなど、二分化して
考えがちなものの境界線が、読み進めるうちにぼん
やりしてきます。あたるのために毅が取った行動は、
やがて彼自身を救い、さわやかなラストへとつなが
ります。

『日本全国地元パン』

(甲斐みのり／著、エクスナレッジ、2023.4)

そこに暮らす人が共通して味わうパンは“まちの
味”。各地のパンを知ることは、まちの歴史を紐
解くこと。著者が全国各地を旅する中で出会った
地域に根付く愛すべきパンたち。あんパン、食パ
ン、メロンパンなどおなじみのパンから、“その土
地だけ”に存在する名物パンまで、懐かしくも個
性的な「地元パン」を収録しました。「ここ」にしか
ないパンたちをぜひ楽しんでください。

発行：西東京市図書館

<http://www.library.city.nishitokyo.lg.jp>